

新型インフルで休校 県立高校は一斉に

HR終了後、帰宅準備をする生徒たち



5月20日、滋賀県内で初めての新型インフルエンザの感染者が見つかった。これを受けて、滋賀県は今日から26日までの7日間、県立高校を臨時休校にすることとし、本校も県の措置を受け、午後からの授業はすべて打ち切られた。

速報新聞

300号

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

休校のことは昼休み終了後のSHRの時間に先生方から生徒に伝えられた。ある新聞部員の所属する2年6組の生徒たちは担任の清水美春先生が休校の連絡を伝えられても動じる様子はなく、落ち着いて先生の話聞いていた。その後は連絡網が配布され、生徒たちは自分が連絡を受ける友達と携帯のアドレスを交換し合った。生徒たちは少し戸惑いながらも、これから始まる1週間の思わぬ

休日に少しワクワクしたような様子でアドレスを交換し合っていた。このことが友達の間を広げるきっかけになったという生徒もいたのかもしれない。その後、清水先生から「各教科の担当の先生方が少ない時間の中、全力で課題を作ってくださいました」ということが伝えられると、教室内にざわめきが起こった。1週間の長い休みを有効に活用するため、生徒たちには国語、数学、英語を中心に各教科から課題が出された。先生が一通り課題を連絡された。今回の休みは24時間自分のものなので有効に活用することとおっしゃると、生徒たちから苦笑が漏れた。その後は諸連絡が行われ、

このキマグレはSHR後から帰宅途中に取材したことを部員が記事して自宅から送信し、集まった記事を学校に残った顧問が編集して紙面を作っています。300号のキマグレは本来「輝け青春」シリーズ3で、サッカー部の紹介をする予定だったのですが、「輝け青春」は学校が再開され次第、発行します。

「課題あります」 生徒苦笑

その後、清水先生から「各教科の担当の先生方が少ない時間の中、全力で課題を作ってくださいました」ということが伝えられると、教室内にざわめきが起こった。1週間の長い休みを有効に活用するため、生徒たちには国語、数学、英語を中心に各教科から課題が出された。先生が一通り課題を連絡された。今回の休みは24時間自分のものなので有効に活用することとおっしゃると、生徒たちから苦笑が漏れた。その後は諸連絡が行われ、

放課となった。SHR後、教育実習で2年6組におられる安食知典先生にお話を伺った。先生は実習中に学校が休校になってしまったことについて「授業があまりできなくなりました。残念ですが、なかなかこんな緊急事態に

SHR後、部員が古川正治校長先生に話を伺うと「今回の休校は、感染防止のために、生徒のみならず、生徒もそういう趣旨をくんで、外を歩かないようにしてほしい」と話された。

感染防止のため

SHR後、部員が古川正治校長先生に話を伺うと「今回の休校は、感染防止

のためです。生徒のみならず、生徒もそういう趣旨をくんで、外を歩かないようにしてほしい」と話された。